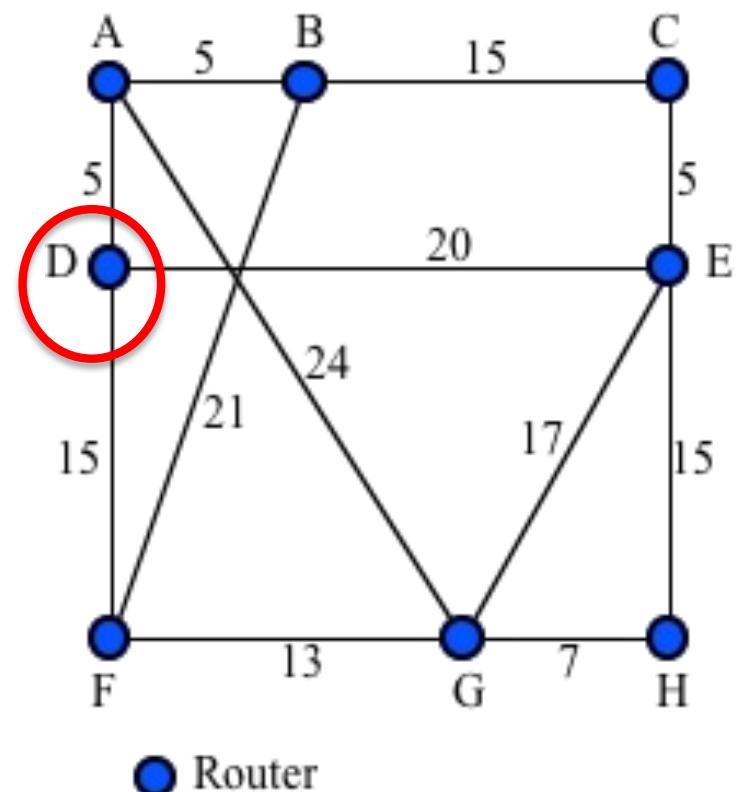


第11回レポート

右図に示すネットワークを考えます。

ここでは、距離ベクトル型のルーティングプロトコルが用いられているものとします。この図においてルータ間の通信回線ごとに記入してある数字は、そのルータ間の距離を表します。

ここで、ルータDがルーティング表を作成する様子を考えます。ルータDが受け取る距離ベクトルは次のページの表の通りです。



第11回レポート

宛先	A	E	F
A	0	25	20
B	5	20	21
C	20	5	36
E	25	0	30
F	20	30	0
G	24	22	28
H	31	15	20

ルータDが受信する距離ベクトル

問い合わせ)

受信した距離ベクトルから、ルータDの新しい経路表を作成し、過程とともにその経路表を示してください。

経路表には、宛先のルータごとに、そのルータまでの距離と次のルータを記入してください。

また、もし距離の等しい複数の経路が最短距離となる場合には、アルファベット順で早いほうのルータを記入してください。

第11回レポート

感想・意見などがあれば自由に書いてください。

7月5日（土）12時までに、PDFファイルにしてMoodleで提出してください